

1 1年「早期学校体験（学校見学）」の開催目的

- ・学校現場の見学や教育活動の参観を通して教職の実際や魅力を理解すると共に、自らのキャリア形成と大学での学修を関連させ、教育者としての意識や視点をもつ。
- ・小学校教育の教育課程や特色・構造を実際に見学したり説明を受けたりして理解し、小学校教員への夢や憧れを再確認する。また、教職に就く意志を確かなものにする。
- ・教育現場の現状を理解すると同時に様々な課題や問題に気づき、意識変革を図る。

2 学校体験の実際

(1) 体験先

東郷町立高嶺小学校（校長：西山 淳 先生）学級数 24（内特支 6）、全校児童 472 名

〒470-0155 愛知郡東郷町白鳥二丁目 5 番地 TEL：0561-38-2201

(2) 開催日時・日程 2025年9月11日（木）

- 9:15 日進駅（出席確認後、徒歩にて移動）
9:35～ 9:45 高嶺小学校到着・挨拶
（児童発達教育専攻・宮寺千尋さんによる学生代表あいさつ、日程説明と諸注意）
9:45～10:20 2時間目の授業をグループで参観（控え室に戻る）
10:20～10:45 「なかよしタイム」児童とのふれ合い活動
10:45～11:25 3時間目の授業参観、その後、質疑応答（教頭、教務主任対応）
11:25～11:35 学生お礼の言葉（学生代表）
12:00 日進駅到着後、事後指導、解散

(3) 参加者及び人数

（学生）教職プロ講座に参加している児童発達教育専攻・幼児保育専攻1年生 29名

（幼児保育専攻：3名、児童発達教育専攻：26名）

（引率）教職課程教員 3名

合計 32名

※当日の欠席や遅刻等も一切なく、服装や髪色、装飾品等についても各自が十分に考慮しており参加意欲の高さがうかがわれた。

3 学校体験の成果と参加学生の感想

- ・高嶺小学校の教職員や子どもたちが、学生を迎え入れようという気持ちがにじみ出ており、気持ちよく半日を過ごすことができた。学生が到着した折には、授業中であるにも関わらず、全校放送で学生の到着を伝えられた。大喜びの様子が校内から感じられた。体育の器械体操の授業では、何か所かに分かれて行う倒立の授業で、補助として児童の体を学生が支えた。図工や国語のローマ字の授業では、声を掛け合い教え合う場面も見られた。また、「なかよしタイム」では運動場で鬼ごっこやドッジボールをしたり、学校図書館や校舎内で触れ合ったりと、すぐに仲良くなった。
- ・授業参観後の学生からの質問に対して、教頭と教務主任が真摯に答える場面もあり、教職を目指す学生への熱いまなざしを感じた。最後に東郷町への学生ボランティアの説明も受け、15枚のチラシを希望者に配布したがすぐになくなった。学校と関わることへの関心の高まりがわかった。
- ・学生の感想には「子どもと先生方、地域の方々との様々な関りの中で、子どもがのびのびと素直に育つことができていると感じた。」「子どもへの向き合い方がしっかりしている」「備品が充実している」「日本語が話せない子どものために、手作りの工夫がたくさん見られた」など、参観を通しての学びや感動がぎっしり書かれていた。教職への気持ちを新たに強くした学生もおり、たいへん充実した体験であったことがわかる。



1 2年「早期学校体験（一日学校体験）」の開催目的

- ・学校現場の見学や教育活動の参観、児童とのふれ合いを通して教職の実際や魅力を理解すると共に、自らのキャリア形成と大学での学修を関連させ、教育者としての視点や考え方をもつ。
- ・小学校教育の教育課程や特色・構造を実際に見学したり説明を受けたりして理解し、小学校教員への夢や憧れを再確認する。また、教職に就く意志を確かなものにする。
- ・教育現場の現状を理解すると同時に、様々な課題や問題に気づき意識変革を図る。

2 学校体験の実際

(1) 体験先

大府市立大府小学校（校長：飯田佳洋先生）

学級数 30（通常 25、特支 5）、児童数 773 名、教職員総数 79 名

〒474-0026 愛知県大府市桃山町 5 丁目 44 番地 TEL：0562-44-0021

(2) 参加者及び人数

（学生）教職プロ講座に参加している児童発達教育専攻・幼児保育専攻 2 年生 26 名

（幼児保育専攻：12 名、児童発達教育専攻：14 名）

（引率）教職課程教員 2 名

参加者合計 28 名

※体調不良による欠席 2 名、実習の延期による欠席 1 名（欠席者 3 名）

交通事情による遅刻 1 名

(3) 開催日時

2026 年 2 月 2 日（月）7:40～16:45

(4) 日程

- 7:40 JR 大府駅集合（出席確認後、徒歩にて移動）
7:55 大府小学校到着
8:30～ 8:40 学生代表挨拶（幼児保育専攻・竹内心春）、水野 亮教頭からの日程説明と諸注意
8:45～10:20 1～4 年生及び特別支援学級に分かれて 1・2 時間目の授業参観と指導に参加
10:20～10:50 おおぶっ子タイム（休み時間）を使って、児童とのふれ合い活動に参加
10:50～12:25 1・2 時間目同様、所属学級で 3・4 時間目の授業参観と指導に参加
12:25～13:05 給食指導への参加と児童とともに給食喫食
13:15～13:30 歯みがき指導・給食ワゴン返却・清掃についての指導
13:30～13:50 昼休み時間を使って、児童とのふれ合い活動に参加
13:50～14:55 特別支援学級を中心に授業参観と指導に参加、帰りの会に参加
14:55～15:25 クラブ活動（4～6 年）に参加 ※所属学級の担任が担当するクラブに参加する
15:30～16:00 飯田佳洋校長の講話（教師としての心構え）
16:00～16:20 学生お礼の言葉（児童発達教育専攻学生代表）、事後指導
16:45 大府駅にて解散

(5) 関係経費

給食費 340 円及び大府駅までの交通費については、学生の自己負担

3 学校体験の成果と参加学生の感想

- ・自分の中に「教師としての意識」が芽生えたことを実感したという内容の感想を、参加学生の多くが述べていた。
- ・大学で学んだことが実際の学校や教室で実践されていることを目の当たりにして、「大学での学びの大切さがわかった」という感想が聞かれた。
- ・学校生活の一日をすべて体験したことで、児童への声掛け等の難しさを感じるとともに教職のやり甲斐を体得することができた。
- ・本学の教員が大府小学校の現職教育等に関わっており、その連携の強さを感じると共に、本学学生の受入実績 4 年目ということからくる実施の安定感やスムーズさ等が学生のよい学びにつながっている印象を受けた。



所属学級で自己紹介する参加学生

以上

（教職課程）

2025年度 教職プロフェッショナル講座3年「学校体験」 実施報告書

～東浦町立緒川小学校『学校視察（学習公開）』～

2026年2月9日 教職課程

1. 目的

オープン・スペースをもつ学校として先進的に個性化教育に取り組んできた東浦町立緒川小学校の『学校視察（学習公開）』に参加して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をバランスよく取り入れた具体的な教育活動を直に学ぶことで、これからの教育の在り方を考える。

2. 実施日時

2026年2月3日（火） 9:30～15:30

3. 体験先

東浦町立緒川小学校（校長 竹内秀雄先生） 学級数 20（内特支 3）

〒470-2102 知多郡東浦町大字緒川字八幡7 TEL (0562) 83-2034

4. 参加者

3年生 10名（児童発達教育専攻） ※5名 体調不良等で欠席
引率教員 6名

5. 日程

10:00 JR緒川駅 集合 → 徒歩にて移動

10:25 受付、諸連絡

10:35～11:15 授業参観①（1～6年）

11:20～12:00 授業参観②（1～6年）

12:00～12:40 休憩、昼食

12:40～13:30 授業参観③（特別支援学級）

13:30～14:30 全体会（挨拶、学校紹介・概要説明）、

講演 武庫川女子大学教授 藤本勇二氏「幼児教育から見える緒川小学校の魅力」

14:30～15:30 質疑応答・情報交換 → 解散



【自由進度学習の環境整備】

6. 体験の成果と参加学生の感想

- ・ 緒川小学校の年間2回（10月・2月）開かれる『学校視察（学習公開）』に参加したことで、全学年・学級での多様な教育活動と学習環境を視察することができた。
- ・ 基礎的な学習の完全習得を目指す「マスタリー・ラーニング」や、2教科による単元内自由進度学習である「週間プログラムによる学習」、生活科と総合的な学習の時間を系統立ててよりよい生き方を追究する「総合学習」に取り組む子どもの様子を見ることで、各々の教育活動の実際をつかむことができた。
- ・ 参加学生から、「壁のない広い教室環境で、この教育活動に合った学習環境が整えられていた」「子ども一人一人が自律的に集中して学習に取り組んでいた姿が印象的だった」「一人一人にきちんと学びが身に付いているかと感じるところもあった」という感想があった。